

BULLETIN OF THE FACULTY OF
HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 13 February, 2017

CONTENTS

Mami OMOTE : Religious Education in Irish Secondary Education	1
Masaaki NANBA : A Fundamental Study of Rhythm and Meter —Focused on L. Klages's "Vom Wesen des Rhythmus"—	11
Naoko MURAI : An Attempt to Develop Student Teachers' Empathy towards Parents	19
Nami GAHABKA, Nobuhiro SHINOBE, Hisako YAGI : A Study of singing guidance to nurture sensibility —Based on the case of individual and group tuition—	35
Tomoko DOI : A Study about R. Schumann's 《Album für die Jugend》 op. 68 —Research on the Piano Teaching Method for the Comprehensive Learning—	43
Maiko MORIMOTO, Yukiko FUKAMI : A Study on Revision of Textbook for Piano Learning "Minna no Organ・Piano no Hon" : Comparative Analysis of New and Old Editions (Volume 1 & 2) "Minna no Organ・Piano no Hon" = Well-Known Textbook for Piano Learning Released from Yamaha Music Media Corporation	53
Makoto YANO, Hirotsugu TAZUME : Development of the modeling teaching materials to bring communication skill in childcare person training I —Through practice activity by "MOKUIKU" of the incumbent childcare person—	63
Noriko OKABAYASHI, Masaaki NANBA, Nao YAMASAKI, Motoko FUKAZAWA, Yukie MATSUDA, Kanako FUJII Kyoka TAKAHASHI, Chikako OOTAKI : The Possibility of Musical Activities for Cooperation Between Kindergarten and Elementary School(4) : Expression Play to Music Making by Using a Picture Book	73

京都女子大学
発達教育学部紀要

第 13 号

平成29年 2 月

表 真 美 : アイルランド中等教育における宗教教育	1
難 波 正 明 : リズムと拍子に関する基礎的考察 —L. クラーゲスの『リズムの本質』を中心に—	11
村 井 尚 子 : 保護者の気持ちに寄り添う教師, 保育者の育成	19
ガハブカ奈美・篠部信宏・八木寿子 : 感性を育む歌唱指導の一考察 —個人授業・グループ授業の事例を踏まえて—	35
土 居 知 子 : R. シューマン 《ユーゲントアルバム》 Op. 68 をめぐる —考察(I) —包括的な学びへと導くピアノ指導法を探る—	43
森本麻衣子・深見友紀子 : ピアノ教本 『みんなのオルガン・ピアノの本』 の改訂に関する検討 —新・旧版 (第 1, 2 巻) の比較分析を通じて—	53
矢野 真・田爪宏二 : 保育者養成におけるコミュニケーション能力を 育成するための造形教材の開発 I —現職保育者の“木育”による実践活動を通して—	63
岡林典子・難波正明・山崎菜央・深澤素子・松田幸恵・藤井香菜子・ 高橋香佳・大瀧周子 : 幼小をつなぐ音楽活動の可能性(4) —絵本を用いた「表現遊び」から「音楽づくり」へ—	73
平成28年度公開講座	85
修士論文・卒業論文題目	86

平成28年度 公開講座

◆大学院 こころの相談室公開講座 7月2日(土) 14:00~17:00

認知行動療法からまなぶ 子どものやる気と力を引き出す遊び方

講師 信州大学 学術研究院 教育学系 准教授

高橋 史氏

講師 本学准教授

下津 咲絵氏

◆児童学科公開講座 10月15日(土) 13:00~16:30

絵本と紙芝居 その魅力と相違点

講師 本学教授

川勝 泰介氏

おもちゃ図書館の活動とパペットセラピー

講師 日本パペットセラピー学会副理事長

おもちゃの図書館全国連絡会副理事長

高村 豊氏

平成28年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈心理学専攻〉

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 前 和花子 | 青年の対人回避行動に自己愛の脆弱性および自己効力感の諸側面が与える影響 |
| 舛 谷 麻衣子 | 抑うつ予防を目的とした反芻に対する肯定的信念への介入の試み |
| 松 島 なぎさ | 大学生の居場所と心理的自立の関連について |
| 村 島 楓 | 嗅覚刺激の再認における言語隠蔽効果：転移不適切処理シフト説の検討 |

〈表現文化専攻〉

- | | |
|---------|---|
| 小 林 みゆき | フェルデンクライス・メソッドを取り入れた舞踊作品創作の可能性
～気づきのプロセスと言葉による問いかけを基にした作品創作～ |
| 辻 あすか | 大中恩歌曲集《五つの抒情歌 その1》の作品研究 |

注) このリストは平成29年1月20日に提出された修士論文題目に基づいて作成しています。

平成28年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
相川 慧	富山県の教育から見る子どもの学力向上の手立て	(村井)
青木 真琴	アフリカにおける基礎教育の現状と課題 ー女性の識字率の現状を踏まえてー	(岩槻)
赤松 優	公教育の学校給食費無料化にむけてのー考察 ー貧困家庭に焦点をあててー	(谷川)
阿山 茉央	【卒業制作】世界にひとつだけの絵本『すいせんのラッパ』『わすれられないおくりもの』 【報告文】他者理解を促す図画工作科の題材	(山野)
新居 萌実	学びの連続性に基づく算数・数学指導に関する研究	(坂井)
荒地 桃子	児童が楽しいと感じる合唱活動	(難波)
伊東 歆奈	【卒業制作】物語の結末を想像して作るクレイアニメ「風切るつばさ」 【報告文】図画工作科における映像メディアを活用した表現の試み	(山野)
井場 菜央子	学校外教育としての子ども会活動の意義に関する考察 ー学校教育をより豊かにするためにー	(岩槻)
今泉 綾乃	読み書き能力の概念及びその実態に関する考察 ー文部省「読み書き能力調査」とOECD「国際成人力調査」をもとにー	(岩槻)
上垣 優穂	食育活動の一環としての保育所ならではの取り組み	(原田)
上田 理愛	ドイツの就学前教育に関する考察	(宮崎)
大石 桃香	いじめを未然に防止する力を育む児童会活動 ー低中高の発達の段階に応じた異年齢の交流活動を通してー	(富村)
太田 有香	スクールソーシャルワークの現状と予防的支援 ー不登校への対応を中心にー	(谷川)
大槻 祐花	小学校の授業における教師の主導性と子どもの主体性 ー授業観察と教師へのインタビューよりー	(森)
岡持 知草	「森のようちえん」に注目した自然に関する幼小の連携	(宮野)
岡村 まりあ	算数教育における空間認識能力の育成に関する研究	(坂井)
沖山 奈央美	成功経験を重視した算数指導に関する研究	(坂井)
尾崎 智枝子	異文化理解から考えるセクシュアルマイノリティ	(宮崎)
折原 琴美	好ましい人間関係を築く力を育む学級レクリエーション ー保護者と深める児童理解をもとに課題を発見するー	(富村)
柏木 郁美	小学校における運動会の集団演技で行われている「よさこいソーラン」を教材として検討する	(原田)
片岡 里沙子	現代の商業について多角的に学ぶ第3次産業学習の開発 ー第5学年単元「ディズニーランドのひみつ」を事例にしてー	(松岡)
加藤 春奈	翻訳物語を通して培う読解力 ～「スイミー」を用いた翻訳物語の授業開発～	(井上)

卒業論文題目

- 金 田 満 月 【卒業制作】心を育む人形「シュタイガン・プッペ」 (山野)
【報告文】想像力を育む人形遊びの研究 ―シュタイナーの人形遊びを手がかりにして―
- 嘉 野 加奈子 自尊感情の構造と支援に関する一考察 ―中高生時期のソーシャルサポートに注目して― (森)
- 上 司 かのん 【卒業制作】「イスベリ台」 (山野)
【報告文】家族間コミュニケーションをつくる遊具の研究
- 川 端 真 帆 【卒業制作】布で作る創造的プレイマット「くりまっと」 (山野)
【報告文】子どもの想像力を育むプレイマットの研究
- 河 本 英 快 自己肯定感を育むソーシャルスキルトレーニングを生かした学級活動 ―集団宿泊的行事の事前事後指導― (富村)
- 北 由里佳 学校図書館の現状と課題に対する考察 ―学校図書館法に焦点を当てて (岩槻)
- 北 川 七 彩 自己肯定感を育む学級での取り組み ―「癒やし」の視点から― (松岡)
- 北 田 梨 紗 児童の短文記述力を高める授業開発 (井上)
- 口 井 さゆり 家族間コミュニケーションの実態と意識に関する考察 ―大学生を対象とする質問紙調査から― (岩槻)
- 久保田 麻 友 日本で暮らす難民の子どもの教育 ―学生・教員の意識調査― (内海)
- 熊 内 那 留 インクルーシブ教育を進めるための通常教育改革 (宮崎)
- 熊 谷 理 加 不登校支援に関する認識と実情 ―個人から関係への視点の転換をめざして― (森)
- 黒 石 夏 未 仲間意識を育む自然体験活動 ―他者と役割分担する集団宿泊活動の振り返り活動を中心に― (富村)
- 河 野 里 沙 職業決定について ―職業決定の一番の要素に関する考察― (村井)
- 河 本 亜 美 特別支援学級の児童と通常学級の児童のよりよい関わりに向けた取り組みにおける一考察 (谷川)
- 小 柴 沙 織 社会階級は文化意識形成に影響を与えるのか ―質問紙調査, インタビュー調査より― (森)
- 小 谷 穂乃茄 児童の興味・関心を高めるデジタル教科書を活用した授業方略 ―第5学年単元「水産業のさかんな地域」の場合― (松岡)
- 小 西 絢 子 【卒業制作】科学絵本 幼児向き『もしもし、ぼくはちきゅうじん』 小学校初級向き『うちゅうりょこう』 (山野)
【報告文】子どもの知的好奇心を育てる科学絵本について
- 小 林 央 依 思考力を高める意見文指導 (井上)
- 小 松 薫 穂 いじめ問題の背景と対応のあり方について (村井)
- 斎 藤 綾 夏 学びの基盤となる生活科・理科教育の授業づくり (宮野)
- 坂 川 恵 梨 体験的な理科の授業づくり ～動植物の飼育・栽培を通して～ (宮野)
- 塩 尻 萌 絵 算数教育における文章題解決過程に関する研究 (坂井)
- 塩 田 加奈子 知的障害児に対する体育指導法の考察 (原田)
- 塩 見 友 梨 一日の学級生活への学習意欲を高める朝の会を支える学級活動の工夫 ―中学年の発達段階に応じた主体的な話し合い活動をもとに― (富村)
- 静 川 穂 波 わが国における家族の姓とその機能に関する一考察 ―史的推移と意識調査から― (森)
- 七 里 静 香 愛着障害をはじめとする通常学級における特別支援に関する一考察 ―イギリスのThe Nurture Groupの取り組みから― (谷川)
- 嶋 田 有 沙 コミュニケーション能力の基礎を築く低学年の係活動 ―社会的技能訓練や自己主張訓練と関連させて― (富村)

白石 莉穂	数学的背景に基づいた円周率の指導に関する研究	(坂井)
杉原 成美	「ケアリング」を小・中学校の道徳教育に導入することについて	(谷川)
杉森 紗矢香	他者肯定感が高い児童を育てる学級活動 — 他者の児童の頑張りを認め合うふり返りを通して—	(富村)
鈴木 麻祐加	大学生にみるデートDVの現状と対策 — 質問紙調査とインタビューから—	(森)
酢野 恵理子	小学校英語科カリキュラムと指導法の研究 ～クラスルームイングリッシュの系統化にむけて～	(井上)
曾根 花蓮	音楽科と他教科の合科的指導について — 国語科との関連を中心に—	(難波)
高橋 美帆	ギャップイヤーを知っていますか? — 日本への導入に向けての現状と課題—	(内海)
武田 真穂	【卒業制作】対話を育むエプロンシアター「おしくらまんじゅう」・「さるかに」・「くまくんのトロッコ」 【報告文】子ども同士の対話を育むエプロンシアターの遊び	(山野)
竹田 美穂	初心者のためのピアノ教材 — 『バイエル教則本』を中心に—	(難波)
竹中 みづき	保育の量的拡大と質的向上 — 認定こども園の可能性から—	(森)
田中 みのり	イイコのしくみと関わり方 — 学生アンケートと教師インタビューより—	(森)
田中 里奈	学校と科学系博物館の連携	(宮野)
田中 理歩	小学校における少人数教育の在り方についての考察	(村井)
谷村 亜美	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育 — 大阪府茨木市立A小学校の事例に目を向けて—	(谷川)
辻 美沙紀	ごっこ遊びにおける質向上のための保育者援助	(宮崎)
辻本 仁美	特別支援教育の現状と課題 —ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導に向けて—	(森)
土田 若菜	実感を伴った理解を図る小学校社会科文化学習の改善方略 — 室町文化と連携した修学旅行プログラムの開発を通して—	(松岡)
徳重 楓	いじめを未然に防ぐ学校・学級経営 — いじめはなくなるものとして—	(村井)
豊澤 佑季	コミュニケーション能力を高める授業開発 — 話すこと・聞くこと領域を中心に—	(井上)
中岡 沙妃	教科書ファンタジーの構造と授業	(井上)
中久保 歩美	自然体験活動における子どもの自己肯定感の育み	(宮野)
中谷 友美	言語習得の段階性に基づく小学校英語教育の授業開発	(松岡)
中藤 遼香	オンラインコミュニケーション能力を高める学級活動 — LINE ワークショップを活用した第6学年における情報モラル教育を通して—	(富村)
中西 春香	特別な支援を必要とする児童の算数指導に関する研究	(坂井)
永井 優奈	物語絵本を活用した小学校英語教育 ～英語教育における読解力の育成と課題～	(井上)
西尾 咲紀子	「教育技術法則化運動」による跳び箱運動の指導をめぐる論議	(原田)
西村 真琴	小学校理科における天文教育 ～「月と星」の授業の提案～	(宮野)
西本 真衣	子どもたちの日常生活とつながる理科の授業づくり	(宮野)
野川 茜	異なる文化を持った子どもの教育 — 在日外国人を中心に—	(内海)
野木 華穂	ホリスティックな視点に立つ道徳教育 — かわりに着目して—	(宮崎)
野坂 美里	幼小連携の必要性 — 「小1プロブレム」解消に向けて—	(福永)
野田 千尋	器械運動の苦手な子どもに対する指導法の研究 — スモールステップの中に感覚を重視させる指導法—	(原田)
早田 美咲	アクティブ・ラーニング時代における説明的文章の指導法 ～説明的文章の授業をアクティブにする～	(井上)
原 千里	和食を取り入れた小学校における食育活動の考案	(原田)

卒業論文題目

福田 朱 里	【卒業制作】 絵探し布絵本 3歳児向き『どーこだ?』 4・5歳児向き『うさちゃんのがしもの』 【報告文】 幼児の知的発達を促す絵探し絵本について	(山野)
福永 紗 弓	フェアトレードによる国際協力 ―コーヒーを事例に―	(内海)
藤井 瑠美子	実感を伴った理解を図る理科授業	(宮野)
藤原 慧梨那	わが国の小学校における防犯対策の特徴と課題 ―京都市立小学校・京都府警察へのインタビューから―	(森)
藤平 依 里	少年犯罪を未然に防ぐための小学校教育	(村井)
藤本 彬 佳	社会で活躍する女性に必要な能力 ―事例検討を通して―	(宮崎)
増川 凜	「支え合う力」を育む新たな地域コミュニティ	(松岡)
三保木 絢 子	豊かな人間性を育む算数教育に関する研究	(坂井)
宮崎 梨 香	幼児の望ましい発育・発達を促す園庭環境	(原田)
宮田 笑 美	自己肯定感を高めるユニバーサルデザイン授業 ―視覚化・焦点化・共有化の視点をいかして―	(富村)
宮本 育 子	音楽の授業におけるディズニー音楽の活用	(難波)
村井 沙 稀	大学生のアパシー	(内海)
村上 未 帆	外国にルーツをもつ子どもたちの支援について ―民族学級の意義と課題から考える―	(谷川)
森田 真 由	子どもの成長発達に悪影響を及ぼすもの ―児童虐待から考える―	(宮崎)
森本 麻 友	組体操における議論 教育的意義・価値とその課題	(原田)
八木 萌 子	「特別の教科 道徳」における評価の在り方	(村井)
安田 明 華	多面的・多角的な見方を育成する小学校歴史学習の授業開発 ―第6学年単元「日本の植民地化政策は良かったの?悪かったの?」を事例にして―	(松岡)
安永 文 音	生活綴方の実践とその意義に関する考察	(岩槻)
山川 美紗貴	児童養護施設における支援のあり方に関する研究	(岩槻)
山崎 若 菜	異文化の多面的な理解を深める小学校社会科授業の開発 ―第6学年単元「フランスと日本の食のひみつ」を事例にして―	(松岡)
山田 彩 織	算数に対する学習意欲を向上させる授業の開発	(坂井)
山田 咲 希	フィンランドにおける学校・地域・家庭の連携についての研究	(岩槻)
與北 恵英子	「体づくり運動」領域の「体ほぐしの運動」導入の経緯と学習内容の捉え方	(原田)
横田 吏 保	「あるがまま」を認めることができる社会へ	(宮崎)
吉岡 美 香	体育授業におけるマネジメント ～高学年のボール運動(ゴール型)を例に～	(原田)
戸倉 朋 子	社会的提案力を育成する小学校産業学習の開発 ―第5学年単元「北陸新幹線の延伸ルート」を事例にして―	(松岡)
澤田 かのこ	学校現場におけるいじめ問題についての一考察 ―いじめのない学級経営―	(福永)
曾田 柚 奈	子どもの「生きる力」を育むために保育者に求められていること ―幼児期の道徳教育の必要性―	(福永)
田川 愛 梨	自己主張力と自己抑制力の育成に向けて	(福永)

心 理 学 専 攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 ゼ ミ
青木 瑞 月	「新しいオノマトペについての印象と男女での違いについて」	(箱田)
飯間 志 帆	人との愛着とモノへの愛着の関係性	(片岡)

井岡 瑠美	再認時の顔の注視時間・注視回数は犯人特定の手がかりになりうるか	(箱田)
梅守 里奈	アタッチメントスタイル, 劣等感と恋愛依存の関連について	(稲塚)
太田 瑞紀	顔選好における自己類似性と自己愛傾向の影響	(箱田)
大屋 奈央	死別体験の有無による女子大学生の死生観の変化と成長感	(下津)
小川 祐妃	描画構成に及ぼす要因の研究	(広瀬)
奥井 美帆	女子大学生の対象(恋人・家族)に対する被服行動志向の変化 —公的自意識との関連性について—	(下津)
加納 優沙	女子大学生における自己愛的脆弱性と対人場面におけるあいまいさへの非寛容との関連性について	(下津)
紙谷 友梨香	感情抑制と代替思考が顕在モードと潜在モードに及ぼす影響	(片岡)
川瀬 遥子	方向感覚と空間情報の処理能力及び空間情報を構成する能力の関係	(広瀬)
川瀬 真由	個人の認知スタイルと虚記憶との関連について	(広瀬)
河股 小百合	女子大学生における児童期の遊び経験と青年期の心理的特徴との関連	(片岡)
久野田 安希	あがりやすさとストレスコーピング及びレジリエンスの関連について	(広瀬)
久保田 万友佳	自己愛・自己受容と友人関係との関連について	(片岡)
小池 友莉	アタッチメントスタイルと二次元レジリエンス要因および自尊感情との関連	(下津)
小坂 花	グローバル処理・ローカル処理が認知スタイルに及ぼす影響	(箱田)
小山 美咲	青年期の公的自意識と自己受容が対人恐怖に与える影響	(吉村)
佐藤 光夏	ネガティブな体験の意味づけ方と主観的健康感の関連	(大矢)
塩見 麻理奈	グローバル処理・ローカル処理の持続的施行がゲシュタルト崩壊を引き起こす可能性の検討	(箱田)
篠原 由季	自尊感情と特性不安が現代青年の友人関係に及ぼす影響	(吉村)
白波瀬 榛菜	図書館広報誌の表現方法が図書館の印象に及ぼす影響	(下津)
高倉 美有	女子大学生における厳格な親の養育態度が自尊感情と問題行動許容性に及ぼす影響について	(松浦)
高橋 由衣	不安感情と占いの信用度が占いの的中判断に及ぼす影響	(吉村)
田口 栞那	服装の類似性が対人魅力に及ぼす影響について —自尊感情との関連から—	(吉村)
橘 瑶子	女子大学生の母娘関係が学校適応感に及ぼす影響	(下津)
立川 未樹子	嫌悪的側面を含む自己に対する内省が反応スタイルおよび自己受容に及ぼす影響について	(松浦)
田中 智子	異性との親密な関係における自己呈示動機および依存性スタイルとの関連	(片岡)
谷口 夏海	私的自意識と心理的適応の関連について	(稲塚)
谷田 なるみ	自己説明と他者説明が理解に及ぼす影響について	(広瀬)
富川 みなと	友人に対する役割行動期待・自己受容と友人関係満足度の関連 —ストレスコーピングにも着目して—	(稲塚)
中川 絢子	文末詞のコミットの程度が文の記憶に及ぼす影響	(広瀬)
中沢 千賀子	眼鏡が表情の印象に与える影響について	(吉村)
中村 茉由	孤独感と孤独に対する捉え方が友人関係期待に及ぼす影響	(松浦)
中屋 美紀	フォーカシング的態度および対人ストレスコーピングと心理的 well-being の関連について	(稲塚)
長尾 柚季	出来事を想起する際に陳述する嘘が後の記憶に及ぼす影響	(広瀬)
長野 愛	共感性と集団志向性および同調欲求が関係性攻撃と排除判断に及ぼす影響	(松浦)
西川 友梨子	ルートの熟知度と方向が時間知覚に与える影響について	(箱田)
服部 靖子	「親になる」ことによる発達 —母親の就業状況・父親の育児参加の視点から—	(片岡)

卒業論文題目

一松美穂	母親と娘の関係性および、娘の母親に対する自己開示と抑うつに関連	(大矢)
平山菜摘	対人不安・評価対象・評価時期が及ぼす印象形成と変化への影響について	(松浦)
深谷麻未	ネガティブな経験における意味づけから適応に至るプロセスの検討 ―統合的意味づけモデルに着目して―	(稲塚)
藤井里穂	目撃記憶とグローバル処理・ローカル処理傾向の関連性について	(片岡)
藤田彩花	共感性と対人欲求が友人関係における自己表明・他者表明に及ぼす影響	(松浦)
細井美穂	対人関係場面における自己受容と他者受容が充実感に及ぼす影響について	(大矢)
前田紗彩	情報処理モードの変更が人物判断に及ぼす影響の検討 ― Global 処理モード、Local 処理モードに着目して―	(箱田)
牧田千咲	現代女子大学生のストレスとストレスコーピングおよびストレス反応の関連	(大矢)
松田有希子	青年期における罪悪感と不合理な信念の関連	(大矢)
松永望帆	友人関係の築き方と自己の性格の関係	(吉村)
松宮江里	女子大生における恋愛類型、交際期間と主観的幸福感の関連について	(稲塚)
松本真由子	対人特性が学校適応感に与える影響について	(大矢)
松本柚香	嘘を見破ることの困難さを学習することによる透明性錯覚量の減少効果	(下津)
水谷奈央	自己愛における評価過敏性・誇大性と自我同一性の感覚の関連について	(稲塚)
南侑里	インターネット利用と対人依存欲求・孤独感・性格特性との関連について	(稲塚)
森彩乃	SNS 利用および SNS における人間関係が対人不安に与える影響	(大矢)
森田和佳奈	高齢者の注意機能について ―高齢者の生活習慣及び大学生の注意機能との比較―	(箱田)
安田早悠希	女子大学生における自尊感情とアタッチメントスタイルの関連について	(大矢)
柳川瀬楓	触覚の再認記憶における言語隠蔽効果	(広瀬)
山尾彰子	性格の類似性および自己受容と他者受容が印象形成に及ぼす影響	(吉村)
山口亜希子	自己没入の高さと転換性注意機能についての実験的検討	(下津)
山本真寛	笑い、性格、対人交流が主観的幸福感に与える影響について	(吉村)
田島涼音	女子大学生の嫉妬の喚起と友人関係のあり方との関連について	(片岡)

音楽教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
浅下恵美	自作品《マーチ「彩」》の考察と分析	(安村)
浅沼綾音	映画『M:I-2』における音楽の効果について	(荒川)
安部真由	ピアノレッスンにおけるリトミックの効果 ―音感・リズム感を中心として―	(関口)
有島枝里	劇場版「名探偵コナン」のオープニングにおけるメインテーマと映像の効果について	(荒川)
池森清花	リスト 巡礼の年報第2年補遺《ヴェネツィアとナポリ》より 第3番〈タランテラ〉に関する一考察	(大谷)
石見蘭	モーリス・ラヴェルの《鏡》より〈海原の小舟〉に関する一考察	(大谷)
上野翔子	グノー《ロメオとジュリエット》の愛の二重唱に関する一考察	(秀村)
梅野早姫	ベルリオーズ《劇的交響曲「ロミオとジュリエット」》に関する一考察	(秀村)
大萱萌	アニメーション作品における劇伴音楽とその演出方法 ～『ジョジョの奇妙な冒険』を題材として～	(荒川)
大谷絵理奈	ベートーヴェン《エロイカ変奏曲》Op. 35に関する一考察	(大谷)
岡本聖奈	ジョゼフ・モリス・ラヴェル《ラ・ヴァルス》に関する一考察	(土居)
奥山有紀	チャイコフスキーの幻想序曲《ロメオとジュリエット》に関する一考察	(秀村)

河野 田 香	スープレットの発声と表現について —《こうもり》アデーレを用いて—	(ガハブカ)
北岡 知 紘	『ゼルダの伝説』シリーズのゲーム音楽の歴史と変遷	(安村)
木村 美 保	ローベルト・シューマン《ピアノ・ソナタ第3番》op. 14 第3楽章に関する一考察	(土居)
桑原 まどか	W.A. モーツァルト 弦楽のためのセレナード《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》K. 525の楽曲分析	(安村)
河野 静 奈	映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』シリーズにおける音楽とその効果	(荒川)
小塩 真 優	フリデリク・ショパン《幻想ポロネーズ》Op. 61に関する一考察	(土居)
小嶋 亮 子	ショパンのピアノ技法と教育法の一考察	(土居)
小林 香 穂	地域の子どもの合唱団の目的と意義 —姫路市児童合唱団に焦点を当てて—	(関口)
竹内 友 里	発達段階に応じたわらべうたの考察 —季節のわらべうたの分析を通して—	(関口)
谷口 彩 華	ミュージカル映画『サウンド・オブ・ミュージック』についての楽曲分析を中心とした考察	(荒川)
堤 晴 香	ベッリーニのオペラ《カプレーティ家とモンテッキ家》に関する一考察	(秀村)
土井 彩 華	NHK 全国学校音楽コンクール課題曲の分析 —時代背景と学校教育との関わりを中心として—	(関口)
仲井 莉 奈	プロコフィエフ ピアノソナタの作風の変遷と考察	(大谷)
中西 華乃子	中田喜直作曲 金子みすゞ詩による童謡歌曲集《ほしとたんぼぼ》より〈こだまでしょうか〉〈わたしとことりとすずと〉〈ほしとたんぼぼ〉について	(田中)
西出 早 貴	仏教讃歌と自作品の分析と考察について	(安村)
西原 奈津絵	R. シューマン《ミルテの花》Op. 25に関する一考察 ～ハイネの詩を用いた歌曲に焦点をあてて～	(田中)
西本 愛 美	特別支援教育における ADHD 児への音楽教育とその効果	(関口)
二宮 明 莉	中田喜直「悲しくなったときは」と大中恩「かなしくなったときは」に関する考察と比較	(田中)
橋本 亜 樹	エドヴァルド・グリーグ《ピアノソナタ ホ短調》op. 7 における一考察	(土居)
林 歩 美	チャイコフスキー《ドゥムカ》Op. 59についての一考察 —ロシアの歴史的背景から—	(大谷)
林 真 耶	ヴィヴァルディ作曲オラトリオ《勝利のユディータ》の作品研究	(ガハブカ)
堀 美耶子	〈歌の翼に〉の詩と音楽について	(ガハブカ)
前西 綾 羽	幼稚園における理想的な保育の在り方 —5 領域と関連させた音楽的活動の可能性—	(関口)
松浦 萌	ジャズの歴史とサクソフォン Joseph Kosma による作品「枯葉」の分析と考察	(安村)
松山 千菜美	N. メートネル「忘れられた調べ第2集」より《悲劇的ソナタ》op. 39-5 における一考察	(土居)
森 愛 美	ジョアキーノ・ロッシーニ作曲《老いの過ち》第一巻より歌曲「Anzoleta Avanti la regata」についての一考察	(田中)
森 茉 優	ショパン《幻想曲 ヘ短調》作品49に関する一考察	(大谷)
森川 加 悦	中等教育における日本とドイツの音楽科カリキュラムの比較と考察	(関口)
守田 彩 乃	プロコフィエフのバレエ組曲《ロメオとジュリエット》に関する一考察	(秀村)
森田 いづみ	伊福部 昭《交響譚詩》〈第二譚詩〉の分析と考察	(安村)
森本 佳 奈	中学・高等学校のリコーダー教育について	(安村)
保井 里 菜	ベルリオーズの《ロメオとジュリエット》はなぜ「劇的交響曲」なのか	(秀村)
矢地 香 織	オペラにおける表現方法について —オペラ《ドン・ジョヴァンニ》〈恋人よ、さあこの薬で〉を用いて—	(ガハブカ)
矢野 真 弓	映画『恋空』における音楽の使われ方とその効果について	(荒川)
山田 友 美	信時 潔 歌曲集「沙羅」に関する一考察	(田中)

卒業論文題目

横塚 祐衣	吹奏楽部における効果的な指導の在り方 —吹奏楽未経験の教師の立場から—	(関口)
吉田 瑞穂	G. ガーシュウィンについて ～《ラプソディー・イン・ブルー》の分析を中心に～	(安村)
大澤 有梨花	S.V. ラフマニノフ〈ピアノ協奏曲第2番ハ短調 Op. 18第1楽章〉分析と考察	(安村)
米山 千晶	〈Ah! rammenta o, bella Irene〉の歌唱法 ～ベルカント唱法を用いて～	(ガハブカ)
脇坂 美里	ディズニー・アニメーション『塔上のラプンツェル』における映像と音楽の関係について	(荒川)
渡邊 愛香	W.A. モーツァルトの〈クラリネット協奏曲イ長調〉K. 622の分析と考察	(安村)

平成28年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・題目	所属ゼミ
秋山 万樹	〈男の娘〉キャラクターが与える現実世界への影響 ―二次元作品をもとにジェンダーの観点から考える―	(川勝)
浅見 明日香	保育におけるいのちの教育 ―保育者の姿勢に注目して―	(黒田)
荒木 望実	統合保育における難聴児のコミュニケーション支援について	(黒田)
池田 梢	女子大学生における骨量と生活習慣との関連	(間瀬)
石川 友理香	音楽活動の広報と実践記録における Web 及びソーシャルメディアの活用	(深見)
石田 望	少年犯罪実名報道の是非 ―少年の育ちと更生の視点から―	(黒田)
市川 千尋	想像力とコミュニケーション力を育むブロック玩具「つけかえアニマル」	(矢野)
一之瀬 美穂	昔話絵本における残虐性の描かれ方 ―絵本「かちかちやま」を中心に―	(松崎)
伊藤 杏奈	JAMAR 式握力計を用いた握力測定法の検討 ―測定体位の変化が握力に及ぼす影響―	(間瀬)
井上 瞳	学生の「気になる子ども」についての認識と実習における関わりの実態について	(倉本)
井原 未沙希	病児保育の必要性和課題 ―病児保育が普及するためには―	(黒田)
今井 真保	育児行為に関する調査 ―特に父親に注目して―	(瀬々倉)
上垣 友里恵	やすらぎのコミュニケーション玩具「カランとつみつみ」	(矢野)
上田 美沙紀	保育者のためのエレクトーンアレンジ ～『子どものうた弾き歌いベスト50』をもとに～	(深見)
上田 実苗	女子大学生の体型認識と食生活及び運動習慣の関連	(森)
上田 怜美	苦手な食べ物のある子どもへの食事時の指導援助	(上月)
大谷 実来	映像メディアにおける障害表象について ―等身大の障害者を理解するために―	(黒田)
岡本 和音	幼稚園と小学校をつなぐ音楽活動の提案 絵本『きょうはマラカスのひ』の実践をもとに	(深見)
奥村 千晶	地域に求められる子育て支援とは ―児童虐待防止のために―	(黒田)
小田 桃嘉	妊娠期・産褥期における育児ストレスと産後ケア	(瀬々倉)
越智 由佳子	子ども服の今と昔 ―大正・昭和から現代までの子ども服の変遷を中心に―	(川勝)
桂 美沙紀	保育を学ぶ学生の障害者観について ―人間、知的障害者、身体障害者の幸せをどのように認識しているか―	(倉本)
紙森 優紀	多文化保育に関する検討 ―海外保育経験者へのインタビューを通して―	(古池)
菊谷 和香	ウェディングドレスの流行についての考察	(黒田)
河内 花梨	触覚を育む、木製乗用玩具「ゆらりんぎょ」	(矢野)
河内 未来	本学学生における通学時ウォーキングの運動効果 ―バドミントンとの比較から―	(新矢)
河野 星羅	谷山浩子の作品と保育の関わり	(深見)
川村 菜々美	発達段階と食育の取り組みの関係について	(松崎)
北川 香穂	絵本を用いた表現あそびの可能性について ～絵本『どんなおと?』を用いて～	(深見)
久徳 礼香	青年期におけるきょうだい関係と社会的スキルの関連	(古池)
日下部 志織	チアリーディング経験が精神面に及ぼす効果	(森)
桑原 杏奈	講師演奏に役立つ合奏譜の制作	(深見)

卒業論文題目

幸田 まどか	「食卓」の変遷とこれからの食生活のあり方についての一考察	(川勝)
近藤 容子	「野菜」をテーマとした絵本の考察 — 乳幼児の食育への活用を考えるために—	(上月)
三枝 歩友美	赤羽末吉の作品研究 — 画法を中心とした分類—	(松崎)
酒井 萌	「まこと保育」についての一考察 — 保育園での実態調査を通して—	(松崎)
坂田 亜里紗	女子大学生におけるパーソナリティと被服行動の関連	(古池)
佐々木 彩乃	子どもが興味を持つ楽器紹介の提案 ~音楽隊の活動を通して~	(深見)
佐々原 梨予	表現意欲を引き出す遊びの工夫に関する一考察 ~手遊び歌《おもしろめがね》を用いた実践を通して~	(深見)
滋井 綾香	乳幼児が興味を持って取り組める栽培活動の考察	(上月)
柴田 香帆	幼児期における食の好き嫌いに関する一考察	(森)
杉原 知奈実	より良い保育とは —モンテッソーリ教育と幼稚園教育の比較検討から—	(森)
杉本 佳奈子	中川李枝子の保育観 —「ぐりとぐら」シリーズに込められたもの—	(川勝)
砂田 真未	子育て支援における人形劇の活用 —京都市新道児童館での実践を事例として—	(松崎)
妹尾 桃	子ども一人ひとりが楽しめる表現リズムあそびの条件に関する一考察	(森)
惣樂 薫	「ピーターラビット」シリーズの作品分析 —擬人化を扱う場面の工夫について—	(松崎)
園部 葵	音の出るおもちゃと乳児の関わり ~ガラガラに注目して~	(深見)
高田 千晶	児童養護施設職員が目指す理想の職員像と子どもとのかかわり	(上月)
高橋 礼美	しかけ絵本の定義と分類	(松崎)
武田 あゆな	幼児のトラブルに対する保育学生の関わりについての考察	(上月)
田中美希	幼児期のよりよい自然環境教育 —森のようちえん活動を手がかりに—	(黒田)
谷昌子	ファン行動が自尊心と自己愛人格傾向に与える影響	(瓜生)
谷中 優奈	さとうわきこからのメッセージ —『ばばあちゃん』を中心に—	(川勝)
辻 明日花	女子大学生の子育て不安と保育実践経験	(瀬々倉)
辻 亜弓	視覚と触覚で感じ、空間認知能力を育む玩具「でいっちきゅーぶ」	(矢野)
辻 有香	組み立て遊びを通して、わくわくする気持ちを育む木製玩具「わたしのゆうえんち」	(矢野)
辻野 穂香	両親の親密度が女子大生の結婚観に及ぼす影響	(瓜生)
徳永 梨沙	幼稚園・保育所における「朝の会」の実態 ~特に「話し合い活動」に視点をおいて~	(上月)
富岡 奈央	絵本に見られるきょうだい関係について	(川勝)
富谷 弥法	子ども達が楽しめるダンスの振付・指導方法	(深見)
豊田 桃音	モーリス・センダック論 —センダックの絵本にみる死に対する考えを中心に—	(松崎)
鳥山 智代	青年期の女子における父娘関係および両親の夫婦関係が父親と理想の男性像の類似性に与える影響	(古池)
土井 晴奈	子どもの基本的動作の発達	(森)
中江 菜月	保育所・幼稚園の保育活動における音楽の使用について ~ピアノ楽譜アレンジ集の制作~	(深見)
中川 あかり	日常的なストレッチが姿勢および不定愁訴に与える影響	(新矢)
中田 早紀	絵本の原作と翻訳の表現の違いとその効果 —直訳と意識—	(川勝)
中村 さくら	子どもの歌唱活動に関する援助の在り方	(深見)
中村 彩香	自己認識欲求が社会的比較志向性に与える影響	(古池)
仲谷 彩花	絵本に描かれるベット —子どもとの関係や読み手に与える印象に視点をあてて—	(川勝)
中山 汐梨	女子大学生におけるアサーション過程の検討	(瀬々倉)
夏秋 理沙	姿勢の良し悪しと身体バランスの関係	(新矢)
新居 あかね	「14ひき」シリーズの魅力 ~作者いわむらかずおの生い立ちと思想を通して~	(松崎)

西 菜津実	「いわゆる健康食品」摂取の実態とその功罪に関する一考察	(新矢)
西 浦 美 緒	團伊玖磨の童話作品に関する一考察 —《ぞうさん》《やぎさんゆうびん》《おつかいありさん》を中心に—	(深見)
西 田 早 織	女兒向け番組と男児向け番組におけるジェンダー表現 —「プリキュアシリーズ」と「スーパー戦隊シリーズ」をめぐって—	(川勝)
二 宮 千 草	女子大学生における食事バランスと食に関する意識の関係	(新矢)
沼 田 亜 美	幼児に対する歌唱指導方法 —歌唱指導案の作成—	(深見)
花 田 麻 友	幼児の生活習慣と運動能力及び投動作習得の関係	(新矢)
濱 祐 子	保育における子どもたちがお話の世界を楽しむ活動について —紙芝居『モモちゃんがあかちゃんだったとき』『あめこんこん』を事例に—	(松崎)
林 宏 奈	2.5次元ミュージカル —ミュージカル「テニスの王子様」を中心に—	(川勝)
林 田 久 子	宮沢賢治『鳥の北斗七星』における信仰と戦争観	(黒田)
早 野 理 玖	父親の養育態度と子どもの共感性	(瀬々倉)
原 田 知 佳	ショルダーキーボードを用いての弾き歌い	(深見)
張 田 綾 奈	アイデンティティおよび居場所感がキャラの受け止め方に与える影響	(古池)
廣 田 茉 里	運動あそびにおける音楽の有効性 ～動きの要素を捉えた楽曲作成の試み～	(深見)
福 島 菜 生	鬼遊びにおける地域差について	(川勝)
福 原 由 佳	森のようちえん「もりもり京北」における自然体験活動に学ぶ ～すべての乳幼児に保障したい日常的な自然体験・自然環境を考える～	(上月)
藤 井 杏 香	五感を通して遊びながら「染める」文化にふれることができる玩具「触ってみよう！いろいろブロック」	(矢野)
藤 田 眞 央	五感で感じ、心身の発達を促す木製玩具「どれにしようかな？もくもくカート」	(矢野)
藤 野 遥 香	園における子どもの思いやり行動の表出に与える家族要因の影響について	(瓜生)
布 施 千 尋	子どもたちが和楽器に親しむための童謡の箏アレンジと演奏	(深見)
船 越 祐 香	城陽市における地域の遊び場の利用状況と課題 ～乳幼児親子の遊び方過ごし方の観察を通して～	(上月)
町 屋 奈生子	幼児期における生活習慣が運動能力に及ぼす影響	(森)
三 木 奈都美	講師演奏に役立つ合奏譜の制作	(深見)
水 谷 翠	原作の違いからみる絵本の対象年齢 —絵本「シンデレラ」による比較—	(川勝)
溝 上 真里奈	障害者に対する顕在的態度、潜在的態度についての研究 —施設実習経験との関係—	(倉本)
三 谷 遥 子	女子大学生における寒冷血管反応と冷感性の関係	(新矢)
峯 光 梨	幼児の生活習慣と運動能力に関する一考察	(森)
三 野 小結里	子育てで支援に関わるスタッフの効力感	(瀬々倉)
宮 島 実 花	音楽隊公演時におけるBGMについて	(深見)
宮 本 彩弥花	障害者に対する顕在的態度、潜在的態度についての研究 —施設実習経験との関係—	(倉本)
宮 本 菜々恵	女子大学生における1日の行動パターンから見たエネルギー消費量 ～平日と休日の違いから～	(新矢)
宮 本 莉 奈	思春期における両親との関係性が家庭及び学校における社会的スキルに与える影響について	(古池)
村 上 初 花	聴く・触れるを味わう玩具「コロコロタワー」	(矢野)
元 神 瑞 木	バウムテストと子どもの行動傾向	(瀬々倉)
森 田 紗 季	ジェンダーの視点からみる子どもの歌	(深見)
安 居 千 笑	運動経験と生活習慣が及ぼす青年期の体力への影響	(森)
安 田 優 花	幼児におけるロコモティブシンドロームと遊び形態及び生活習慣の関係	(新矢)

卒業論文題目

柳	ひかり	保育士志望者のためのアコースティックギターの弾き歌い ～サポート動画の制作を通して～	(深見)
山崎	愛香	女子大学生における体温の日内変動と生活習慣の関係	(新矢)
山下	真由	森のようちえん「もりもり京北」における自然体験活動に学ぶ ～すべての乳幼児に保障したい日常的な自然体験・自然環境を考える～	(上月)
由田	有紀	子ども服に関する一考察 ―子ども服の変遷と現状を通して―	(川勝)
米田	綾佳	部分実習における実習生の言葉かけに関する考察 ～子どもが意欲的に楽しめる設定保育を目指して～	(上月)
若林	夏帆	現代の子どもたちにとっての昔話の価値 ―日本の昔話を中心に―	(松崎)

注) このリストは平成28年12月20日に提出された卒業論文・制作題目に基づいて作成しています。

〈投稿規定〉

- 第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。
- 第2条 本誌は、本学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他（以下、論文等という）を掲載する。
- 第3条 論文等の掲載は、教育学科教育学専攻、心理学専攻、音楽教育学専攻、児童学科の順に行う。
- 第4条 本誌への投稿資格は次の通りとする。
- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
 - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
 - (3) その他、編集委員会が特に認めた者。
- 第5条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。
- 第6条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。
- 第7条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。
- 第8条 執筆者に抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部数は実費負担とする。
- 第9条 本誌に掲載された論文等は、原則として全文又はその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或いはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。
- 2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。但しこれらの許諾は取り消すことができる。
- 第10条 この規定は平成26年4月1日より施行する。

編 集 委 員

稲 塚 葉 子 瓜 生 淑 子 黒 田 義 道
田 中 純 山 野 てるひ (五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 13 号

平成29年2月3日 印刷

平成29年2月10日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社 圖書印刷 同 朋 舎